

叙述類型研究の新たな試み —非典型的な事象叙述・属性叙述をめぐって—

眞野美穂・益岡隆志・沈力・岩男考哲

■ ワークショップの構成

企画・司会：眞野美穂

発表者：益岡隆志・沈力・岩男考哲・眞野美穂

[1] 趣旨説明 眞野美穂

[2] 研究発表

発表 1 益岡隆志

「事象から属性へ—ラレル形動詞構文の事例—」

発表 2 沈力

「動作動詞の属性叙述機能について—主題標識のない中国語の工夫—」

発表 3 岩男考哲

「知覚表現による属性叙述—「ガスル」型の文と「ヲシテイル」型の文の主題—」

発表 4 眞野美穂

「名詞述語文による事象叙述」

[3] 休憩及び質疑応答準備

[4] 質疑応答 会場からの質疑応答および討論・全体のまとめ

■ ワークショップの趣旨

1. 研究の背景

叙述の類型の研究は、文の形と意味の対応を明らかにすることを目指すものであり、近年日本語だけでなく他言語をも考察の対象として研究が進められている。動詞述語文の典型は事象叙述（event predication）であり、名詞述語文の典型は属性叙述（property predication）であるが、それぞれ属性叙述、事象叙述を行う場合もあり、そこでは様々な条件が関わることが指摘されている（cf. 益岡（1987, 2021）、益岡編（2008）、眞野（2008）、影山（2009, 2021）、影山編（2012）、沈（2012）、岩男（2019））。

動詞述語文（とりわけ、動的な動詞述語文）に関する研究が豊かな蓄積を持つのに対して、統語・形態の面で相対的に単純な様相を呈する形容詞述語文・名詞述語文に関するこれまでの検討は十分なものとは言いがたい。また、属性のタイプ分けについても、未だ統一的な見解は得られていない。事象叙述のなかでも静的な事象叙述の特徴づけについては今後の検討に俟つところが大い。叙述類型研究の深化には通言語的視点からの考察が重要であることも忘れてはならない。

これらの背景から、叙述類型研究の新たな試みとして、今回のワークショップを企画した。

2. 各発表のねらい

以上の点を踏まえ、本ワークショップでは、事象叙述・属性叙述の特徴や相互の関係の在り方をさらに掘り下げて考えるために、これまであまり取り上げられることのなかった観点から4つの発表を行う。

発表1では、ラレル形動詞構文に關係する受動構文（具体的には、受影受動構文）と可能構文を取り上げ、受影受動構文には事象叙述における属性の含意が認められること、及び、可能構文には主体や対象の属性を表す叙述へのタイプ変容が認められることを指摘する。

発表2では、中国語の動作動詞属性叙述文の成立には、動作動詞の本質である項構造の維持に加え、[主題—解説]という構文的条件はもちろん必要であるが、主題卓越言語である中国語（cf. Li and Thompson 1976）には、「解説部または主題部の焦点化」という語用論的条件が必要であることを示していく。

発表3では、「ガスル」と「ヲシテイル」で知覚内容を表す文を用いた属性叙述の差異を考察する。両文が属性叙述を行う場合の属性付与の対象（主題）に着目し、その差異を考えたい。

「ガスル」型の主題は基本的に「場所」であること、一方の「ヲシテイル」型のそれは「属性の所有者」であることを指摘し、これが両文の叙述の類型に起因することを述べる。

発表4では、典型的には属性叙述を行うとされている名詞述語文が、事象叙述を行う場合の特徴を考察し、これらの現象に共通点があることを指摘する。その上で、話者の知覚を伴い、基本的に発話場面における出来事や事物の出現や発生の発見を表す構文（眼前描写文を含む）に生じることで、名詞述語文が事象叙述を行うことを主張する。

これらの発表とそれに続くフロアとの質疑応答を通して、叙述類型研究をめぐる新たな展開の可能性を探りたい。

参考文献

岩男考哲（2019）『引用形式を含む文の諸相—叙述類型論に基づきながら—』くろしお出版。

影山太郎（2009）「言語の構造制約と叙述機能」『言語研究』136, 1-34.

影山太郎編（2012）『属性叙述の世界』くろしお出版。

影山太郎（2021）『点と線の言語学—言語類型から見えた日本語の本質—』くろしお出版。

Li, Charles N., and Sandra A. Thompson (1976) Subject and topic: A new typology of language. In C. N.

Li (ed.) *Subject and topic* (pp. 457-89). New York: Academic Press.

眞野美穂（2008）「状態述語文の時間性と叙述の類型」益岡隆志編（2008）『叙述類型論』（pp.67-91）くろしお出版。

益岡隆志（1987）『命題の文法—日本語文法序説—』くろしお出版。

益岡隆志編（2008）『叙述類型論』くろしお出版。

益岡隆志（2021）『日本語文論要綱—叙述の類型の観点から—』くろしお出版。

沈力（2012）「中国語の付加詞主語文について」影山太郎編（2012）『属性叙述の世界』（pp. 245-263）くろしお出版。